

# ダイワ米国リート・プラス

(毎月分配型) 為替ヘッジあり / 為替ヘッジなし  
(年2回決算型) 為替ヘッジあり / 為替ヘッジなし

毎月分配型	第112期 (決算日 2025年9月26日)
	第113期 (決算日 2025年10月27日)
	第114期 (決算日 2025年11月26日)
	第115期 (決算日 2025年12月26日)
	第116期 (決算日 2026年1月26日)
	第117期 (決算日 2026年2月26日)
年2回決算型	第20期 (決算日 2026年2月26日)

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先(コールセンター)  
TEL 0120-106212  
(営業日の9:00~17:00)

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

◇SKU0329220260226◇

<3292>  
<3293>  
<5692>  
<5693>

# ダイワ米国リート・プラス (毎月分配型) 為替ヘッジあり

&lt;3292&gt;

## 追加型投信／海外／資産複合

日経新聞掲載名：米リプラ毎有

第112期	2025年9月26日決算	第115期	2025年12月26日決算
第113期	2025年10月27日決算	第116期	2026年1月26日決算
第114期	2025年11月26日決算	第117期	2026年2月26日決算

## 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、一つのファンドで米国リートおよび米ドル建てのバンクローン等に実質的に投資することにより、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第117期末	基準価額	3,756円
	純資産総額	1,687百万円
第112期～第117期	騰落率	0.1%
	分配金合計	340円


(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先

 コールセンター 受付時間 9:00～17:00 (営業日のみ)  
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、  
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。

**UD**  
**FONT**

見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

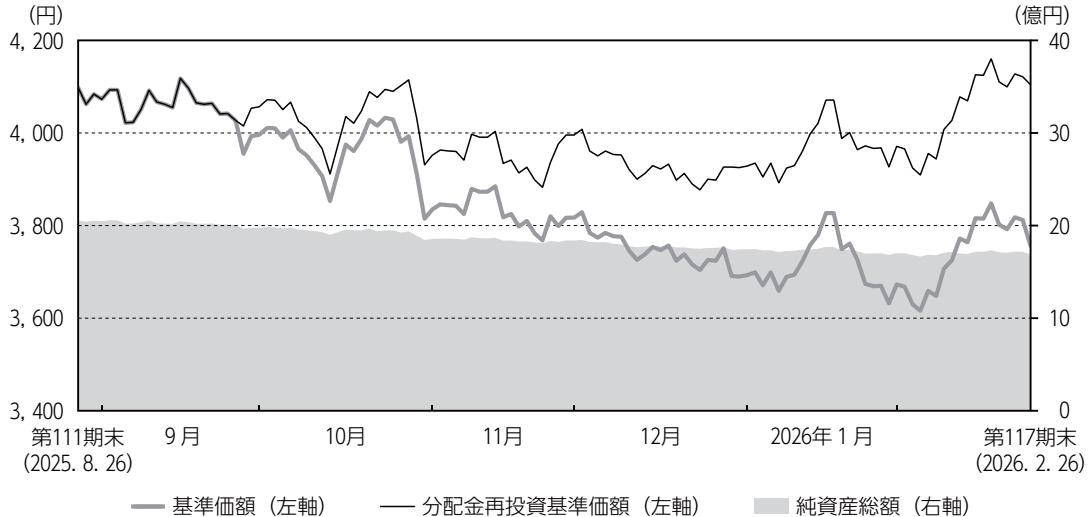
「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法

上記のURLにアクセス → ファンド検索欄にファンド名を入力 → リストから当ファンドを選択 → 運用報告書(全体版)を選択



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

第112期首：4,098円

第117期末：3,756円（既払分配金340円）

騰落率：0.1%（分配金再投資ベース）

#### 基準価額の主な変動要因

スター・ヘリオス・ピーエルシーが発行する債券（米ドル建）を通じて、実質的に米国リートおよび米ドル建てのバンクローン（貸付債権）等に投資し、為替ヘッジを行い運用した結果、米国バンクローン市況と米国リート市況はともに上昇したものの、為替ヘッジコスト等がマイナス要因となったことなどから、基準価額はほぼ横ばいでした（分配金再投資ベース）。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

## 1 万口当りの費用の明細

項 目	第112期～第117期 (2025. 8. 27～2026. 2. 26)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	24円	0.624%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 <b>当作成期中の平均基準価額は3,848円です。</b>
（投 信 会 社）	(7)	(0.193)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(16)	(0.415)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(1)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.014	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(0)	(0.010)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	25	0.638	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

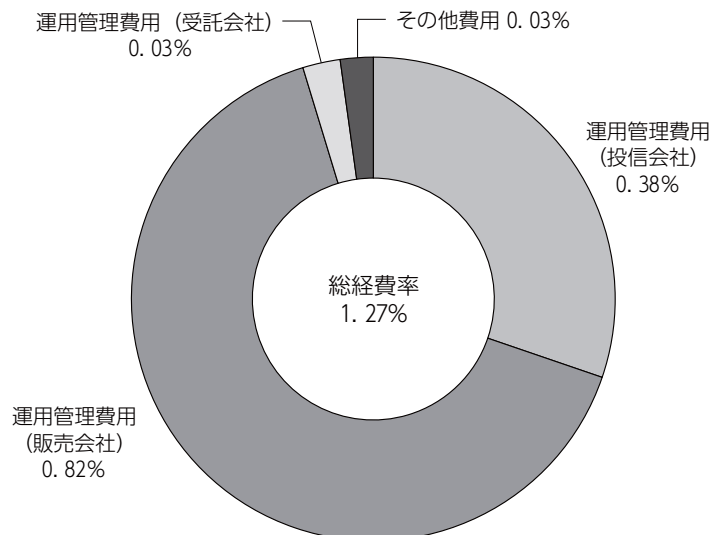
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

### ■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.27%です。



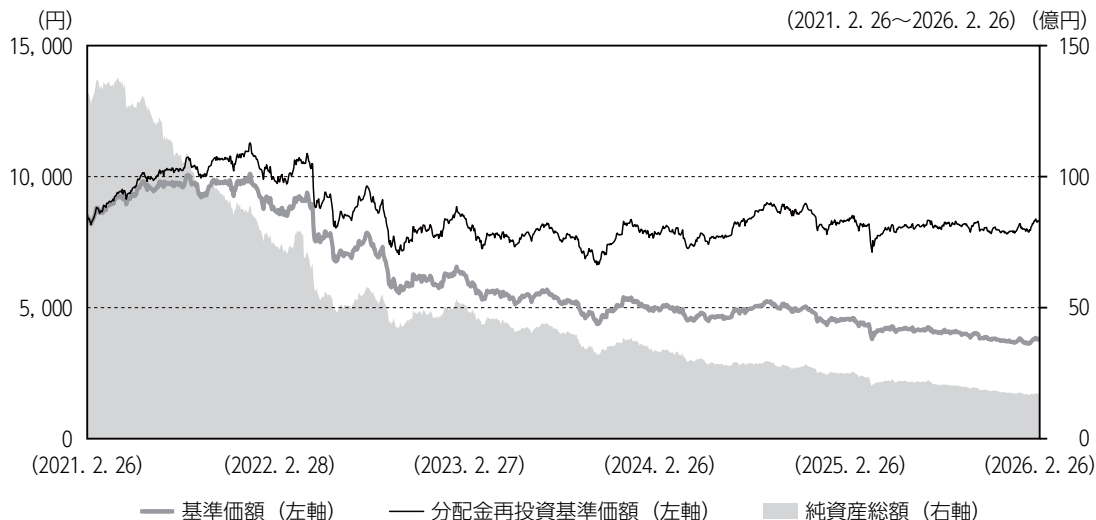
(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料、有価証券取引税および投資対象とする連動債券にかかる費用等を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

\*当ファンドでは、上記のほか投資対象とする連動債券において次の費用がかかりました。  
純資産総額に対して年率0.604%程度、その他各種費用等

## 最近 5 年間の基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、2021年2月26日の基準価額をもとに指数化したものです。

	2021年2月26日 期初	2022年2月28日 決算日	2023年2月27日 決算日	2024年2月26日 決算日	2025年2月26日 決算日	2026年2月26日 決算日
基準価額 (円)	8,516	8,733	5,885	4,948	4,557	3,756
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	1,270	1,230	780	720	700
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	17.3	△19.5	△2.1	7.1	△1.8
純資産総額 (百万円)	13,335	7,352	4,830	3,320	2,489	1,687

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

## 投資環境について

（2025. 8. 27 ～ 2026. 2. 26）

### ■米国リート市況

米国リート市場は上昇しました。

米国リート市場は、当作成期首より、米国の関税政策をめぐる混乱や米中関係の緊迫化を背景に、上下動を繰り返しました。しかし当作成期末にかけては、A I（人工知能）による代替が進みにくい業態であることに加え、米国長期金利の低下が追い風となり、上昇基調へと転じました。

### ■米国バンクローン市況

米国バンクローン市場は上昇しました。

米国バンクローン市場は、ファンダメンタルズと需給の両面で底堅さが続く中、バンクローンによる安定したインカム収益が下支えとなり、堅調に推移しました。

### ■短期金利市況

日銀は、2025年12月に、政策金利である無担保コールレート（オーバーナイト物）を0.75%程度に引き上げました。一方、米国では、同時期に政策金利であるFFレート（フェデラル・ファンド・レート）の誘導目標が3.50～3.75%に引き下げられました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時に「G I M トラスト 2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド U S Dクラス（※）」の値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に保つことによって、米国リートおよび米ドル建てのバンクローン等に実質的に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行います。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

※G I M トラスト 2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド U S Dクラス

米ドル建てのバンクローン等に投資し、安定的なインカム収益の確保をめざして運用を行います。

## ポートフォリオについて

(2025. 8. 27 ~ 2026. 2. 26)

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時に「G I M トラスト2-シニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス」の値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に維持しました。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

### (ご参考) 「G I M トラスト2-シニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス」の組入上位銘柄

銘柄名	資産	通貨	利率 (%)	償還日	比率
WEC US HOLDINGS LTD.	バンクローン	米ドル	5.69	2031/1/27	1.3%
CCO HOLDINGS LLC / CCO HOLDINGS CAPITAL CORP	社債	米ドル	5.00	2028/2/1	1.2%
GREENEDEN U. S. HOLDINGS II, LLC	バンクローン	米ドル	6.22	2032/1/30	1.0%
CLEAR CHANNEL OUTDOOR HOLDINGS INC	バンクローン	米ドル	7.83	2028/8/21	0.9%
INSULET CORPORATION	バンクローン	米ドル	5.72	2031/8/1	0.9%
HUB INTERNATIONAL LIMITED	バンクローン	米ドル	5.92	2030/6/20	0.9%
ADIANT GLOBAL HOLDINGS LTD	バンクローン	米ドル	5.97	2031/1/31	0.8%
AHEAD DB HOLDINGS LLC	バンクローン	米ドル	6.17	2031/2/1	0.8%
ULTIMATE SOFTWARE GROUP INC	バンクローン	米ドル	6.34	2031/2/10	0.8%
STAPLES, INC	バンクローン	米ドル	9.60	2029/9/4	0.8%

(注1) 上記データは2026年1月30日の前営業日現在のものです。

(注2) 比率は「G I M トラスト2-シニア・セキュアード・ローン・ファンド」の純資産総額に対する比率です。

※利率の値は、小数第3位を四捨五入して表示しています。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第112期	第113期	第114期	第115期	第116期	第117期
	2025年8月27日 ～2025年9月26日	2025年9月27日 ～2025年10月27日	2025年10月28日 ～2025年11月26日	2025年11月27日 ～2025年12月26日	2025年12月27日 ～2026年1月26日	2026年1月27日 ～2026年2月26日
当期分配金(税込み) (円)	60	60	60	60	60	40
対基準価額比率 (%)	1.49	1.48	1.55	1.60	1.61	1.05
当期の収益 (円)	45	47	45	43	38	40
当期の収益以外 (円)	14	12	14	16	21	—
翌期繰越分配対象額 (円)	3,145	3,132	3,117	3,101	3,079	3,081

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計上上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

### 収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第112期	第113期	第114期	第115期	第116期	第117期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 45.54円	✓ 47.15円	✓ 45.08円	✓ 43.52円	✓ 38.20円	✓ 41.80円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	✓ 3,159.85	✓ 3,145.55	✓ 3,132.86	✓ 3,117.98	✓ 3,101.50	3,079.72
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	3,205.39	3,192.71	3,177.95	3,161.50	3,139.71	3,121.52
(f) 分配金	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	40.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	3,145.39	3,132.71	3,117.95	3,101.50	3,079.71	3,081.52

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時に「GIM  
トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス」の値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に保つことによって、米国リートおよび米ドル建てのバンクローン等に実質的に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行います。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。



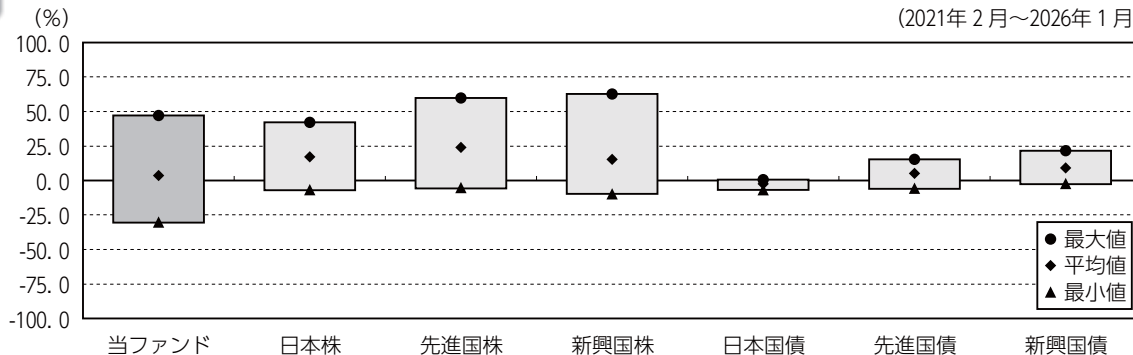
## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／資産複合
信託期間	2016年3月1日～2031年2月26日
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	スター・ヘリオス・ピーエルシーが発行する債券（米ドル建）（以下「連動債券」といいます。）
運用方法	<p>①主として、連動債券への投資を通じて、米国のリート指数（※）に連動した投資成果を信託財産の純資産総額の100％程度享受するとともに、実質的に米ドル建てのバンクローン（貸付債権）等に信託財産の純資産総額の80％程度投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。</p> <p>※米国のリート指数とは、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数をいいます。</p> <p>②連動債券の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。</p> <p>③為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。</p>
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、当初設定から1年以内に分配を開始し、分配開始後は、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。



## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2021年2月～2026年1月)



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	47.0	42.1	59.8	62.7	0.6	15.3	21.5
平均値	3.4	17.1	23.9	15.2	△ 2.5	5.1	9.1
最小値	△ 30.6	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 6.9	△ 6.1	△ 2.7

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。

②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。

③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………配当込みTOPIX

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●配当込みTOPIXの指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドに基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[ <https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>] ●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



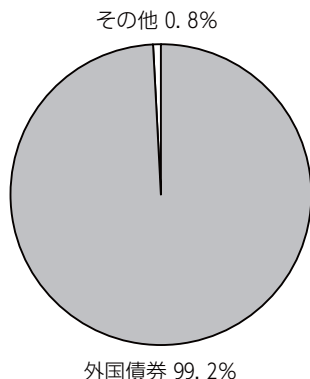
# ファンドデータ

## 当ファンドの組入資産の内容

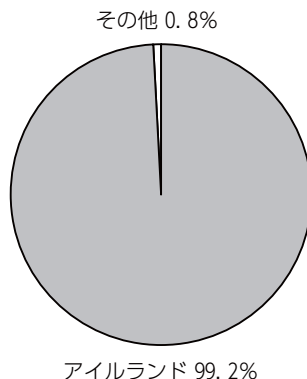
### 組入上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
Star Helios Plc - floating - 2029/1/19	アメリカ・ドル	99.2%
組入銘柄数	1銘柄	

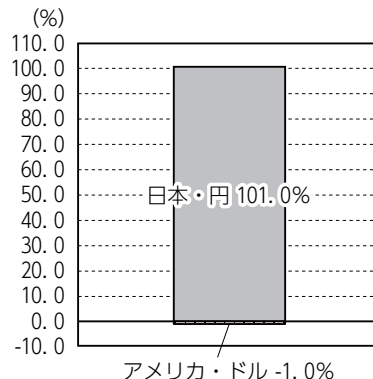
### 資産別配分



### 国別配分



### 通貨別配分



(注1) 上記データは2026年2月26日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

## 純資産等

項目	第112期末	第113期末	第114期末	第115期末	第116期末	第117期末
	2025年9月26日	2025年10月27日	2025年11月26日	2025年12月26日	2026年1月26日	2026年2月26日
純資産総額	1,966,443,567円	1,924,462,370円	1,824,591,974円	1,737,049,220円	1,698,794,181円	1,687,899,358円
受益権総口数	4,971,989,872口	4,834,355,676口	4,802,434,592口	4,706,377,590口	4,623,549,718口	4,493,504,217口
1万口当り基準価額	3,955円	3,981円	3,799円	3,691円	3,674円	3,756円

\* 当作成期間（第112期～第117期）中における追加設定元本額は171,585,428円、同解約元本額は690,277,015円です。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

# ダイワ米国リート・プラス (毎月分配型) 為替ヘッジなし

&lt;3293&gt;

追加型投信／海外／資産複合

日経新聞掲載名：米リプラ毎無

第112期	2025年9月26日決算	第115期	2025年12月26日決算
第113期	2025年10月27日決算	第116期	2026年1月26日決算
第114期	2025年11月26日決算	第117期	2026年2月26日決算

## 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、一つのファンドで米国リートおよび米ドル建てのバンクローン等に実質的に投資することにより、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第117期末	基準価額	7,062円
	純資産総額	27,051百万円
第112期～第117期	騰落率	8.1%
	分配金合計	480円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先



コールセンター 受付時間 9:00～17:00 (営業日のみ)  
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、  
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

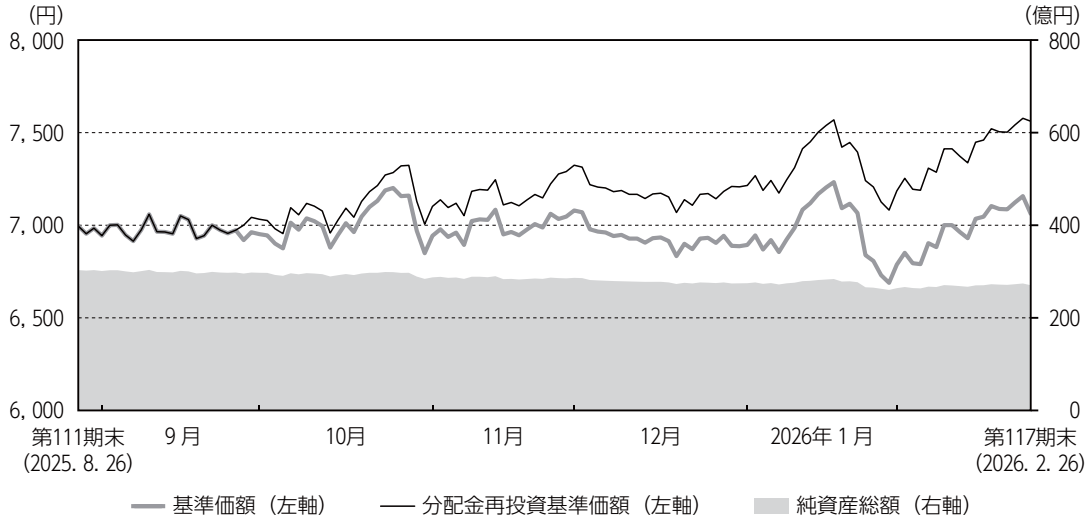
「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法

上記のURLにアクセス → ファンド検索欄にファンド名を入力 → リストから当ファンドを選択 → 運用報告書(全体版)を選択



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- \* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- \* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

### 基準価額・騰落率

第112期首：6,995円

第117期末：7,062円（既払分配金480円）

騰落率：8.1%（分配金再投資ベース）

### 基準価額の主な変動要因

スター・ヘリオス・ピーエルシーが発行する債券（米ドル建）を通じて、実質的に米国リートおよび米ドル建てのバンクローン（貸付債権）等に投資し運用した結果、米国バンクローン市況と米国リート市況がともに上昇したほか、米ドルが対円で上昇（円安）したことなどから、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

## 1 万口当りの費用の明細

項 目	第112期～第117期 (2025. 8. 27～2026. 2. 26)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	44円	0.625%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 <b>当作成期中の平均基準価額は6,979円です。</b>
（投 信 会 社）	(14)	(0.194)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(29)	(0.415)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(1)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.011	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(1)	(0.007)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	44	0.636	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

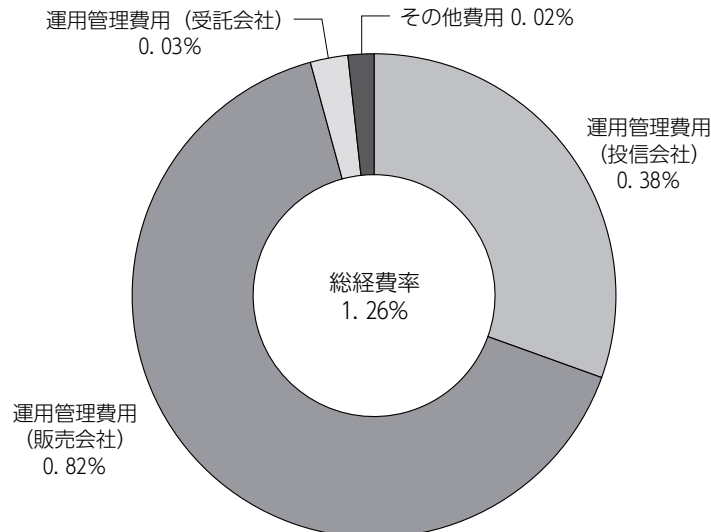
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

### ■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.26%です。



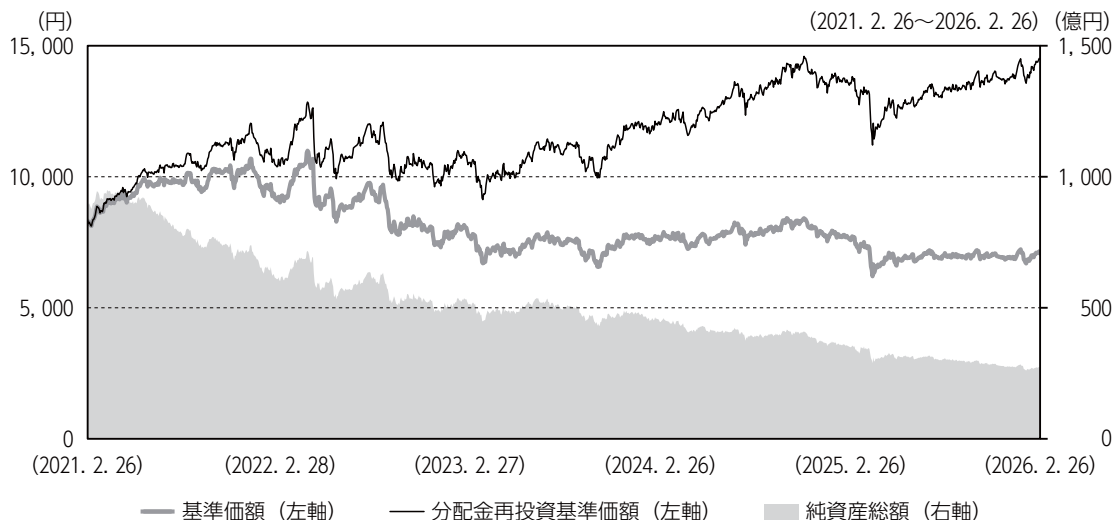
(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料、有価証券取引税および投資対象とする連動債券にかかる費用等を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

\*当ファンドでは、上記のほか投資対象とする連動債券において次の費用がかかりました。  
純資産総額に対して年率0.604%程度、その他各種費用等

## 最近 5 年間の基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、2021年2月26日の基準価額をもとに指数化したものです。

	2021年2月26日 期初	2022年2月28日 決算日	2023年2月27日 決算日	2024年2月26日 決算日	2025年2月26日 決算日	2026年2月26日 決算日
基準価額 (円)	8,325	9,234	7,721	7,647	7,598	7,062
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	1,390	1,440	1,080	960	960
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	28.1	△1.3	14.9	12.3	6.6
純資産総額 (百万円)	90,401	61,593	51,185	45,310	34,996	27,051

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

## 投資環境について

（2025. 8. 27 ~ 2026. 2. 26）

### ■米国リート市況

米国リート市場は上昇しました。

米国リート市場は、当作成期首より、米国の関税政策をめぐる混乱や米中関係の緊迫化を背景に、上下動を繰り返しました。しかし当作成期末にかけては、AI（人工知能）による代替が進みにくい業態であることに加え、米国長期金利の低下が追い風となり、上昇基調へと転じました。

### ■米国バンクローン市況

米国バンクローン市場は上昇しました。

米国バンクローン市場は、ファンダメンタルズと需給の両面で底堅さが続く中、バンクローンによる安定したインカム収益が下支えとなり、堅調に推移しました。

### ■為替相場

米ドル為替相場は対円で上昇（円安）しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より、おおむねレンジでの推移が継続しましたが、2025年10月から11月半ばにかけて、自民党総裁選挙の結果を受けた積極財政や緩和的な金融環境の継続への期待などから、投資家のリスク選好度が強まり、円安が進行しました。2026年1月には、日本の衆議院解散による積極財政推進への思惑などから円安が進行する場面もありましたが、為替介入の前段階とされるレートチェックを日米双方の当局が実施したとの観測を受けて、円高が進行しました。当作成期末にかけては、米国財務長官の強い米ドル政策を支持する発言が米ドル高要因となった一方で、米ドル離れの思惑や市場予想を下回る米国の経済指標が米ドル安要因となり、米ドル円は上下に振れる展開となりました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時に「GIM トラスト 2-シニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス（※）」の値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に保つことによって、米国リートおよび米ドル建てのバンクローン等に実質的に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行います。

※GIM トラスト 2-シニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス

米ドル建てのバンクローン等に投資し、安定的なインカム収益の確保をめざして運用を行います。

## ポートフォリオについて

(2025. 8. 27 ~ 2026. 2. 26)

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時に「G I M トラスト2-シニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス」の値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に維持しました。

### (ご参考) 「G I M トラスト2-シニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス」の組入上位銘柄

銘柄名	資産	通貨	利率 (%)	償還日	比率
WEC US HOLDINGS LTD.	バンクローン	米ドル	5.69	2031/1/27	1.3%
CCO HOLDINGS LLC / CCO HOLDINGS CAPITAL CORP	社債	米ドル	5.00	2028/2/1	1.2%
GREENEDEN U. S. HOLDINGS II, LLC	バンクローン	米ドル	6.22	2032/1/30	1.0%
CLEAR CHANNEL OUTDOOR HOLDINGS INC	バンクローン	米ドル	7.83	2028/8/21	0.9%
INSULET CORPORATION	バンクローン	米ドル	5.72	2031/8/1	0.9%
HUB INTERNATIONAL LIMITED	バンクローン	米ドル	5.92	2030/6/20	0.9%
ADIANT GLOBAL HOLDINGS LTD	バンクローン	米ドル	5.97	2031/1/31	0.8%
AHEAD DB HOLDINGS LLC	バンクローン	米ドル	6.17	2031/2/1	0.8%
ULTIMATE SOFTWARE GROUP INC	バンクローン	米ドル	6.34	2031/2/10	0.8%
STAPLES, INC	バンクローン	米ドル	9.60	2029/9/4	0.8%

(注1) 上記データは2026年1月30日の前営業日現在のものです。

(注2) 比率は「G I M トラスト2-シニア・セキュアード・ローン・ファンド」の純資産総額に対する比率です。

※利率の値は、小数第3位を四捨五入して表示しています。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第112期	第113期	第114期	第115期	第116期	第117期
	2025年8月27日 ～2025年9月26日	2025年9月27日 ～2025年10月27日	2025年10月28日 ～2025年11月26日	2025年11月27日 ～2025年12月26日	2025年12月27日 ～2026年1月26日	2026年1月27日 ～2026年2月26日
<b>当期分配金(税込み) (円)</b>	<b>80</b>	<b>80</b>	<b>80</b>	<b>80</b>	<b>80</b>	<b>80</b>
対基準価額比率 (%)	1.14	1.11	1.12	1.15	1.16	1.12
当期の収益 (円)	79	80	80	80	69	78
当期の収益以外 (円)	0	—	—	—	10	1
翌期繰越分配対象額 (円)	3,257	3,262	3,264	3,266	3,256	3,255

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計上し、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

### 収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第112期	第113期	第114期	第115期	第116期	第117期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 79.55円	✓ 84.39円	✓ 82.26円	✓ 82.35円	✓ 69.40円	✓ 78.34円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	2,800.16	2,801.87	2,803.17	2,804.47	2,806.60	2,809.72
(d) 分配準備積立金	✓ 457.77	455.76	458.95	460.01	✓ 460.43	✓ 446.93
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	3,337.50	3,342.03	3,344.39	3,346.84	3,336.44	3,335.00
(f) 分配金	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	3,257.50	3,262.03	3,264.39	3,266.84	3,256.44	3,255.00

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時に「GIM  
トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス」の値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に保つことによって、米国リートおよび米ドル建てのバンクローン等に実質的に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行います。



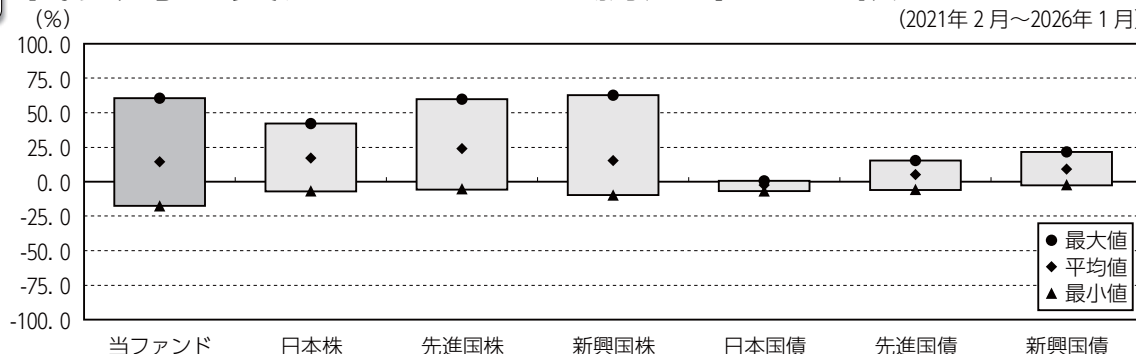
## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／資産複合
信託期間	2016年3月1日～2031年2月26日
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	スター・ヘリオス・ピーエルシーが発行する債券（米ドル建）（以下「連動債券」といいます。）
運用方法	<p>①主として、連動債券への投資を通じて、米国のリート指数（※）に連動した投資成果を信託財産の純資産総額の100％程度享受するとともに、実質的に米ドル建てのバンクローン（貸付債権）等に信託財産の純資産総額の80％程度投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。</p> <p>※米国のリート指数とは、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数をいいます。</p> <p>②連動債券の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。</p> <p>③為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、当初設定から1年以内に分配を開始し、分配開始後は、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。



## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2021年2月～2026年1月)



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	60.5	42.1	59.8	62.7	0.6	15.3	21.5
平均値	14.3	17.1	23.9	15.2	△2.5	5.1	9.1
最小値	△17.6	△7.1	△5.8	△9.7	△6.9	△6.1	△2.7

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。

②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。

③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………配当込みTOPIX

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●配当込みTOPIXの指数値および同指数にかかる商標または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる商標または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[ <https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html> ] ●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



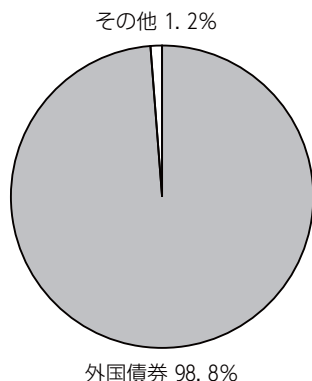
# ファンドデータ

## 当ファンドの組入資産の内容

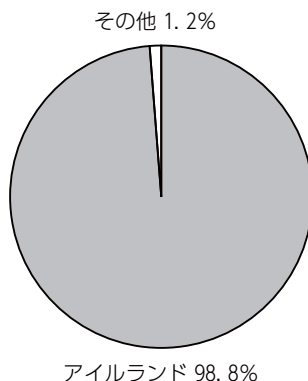
### 組入上位銘柄

銘柄名	通貨	比率
Star Helios Plc - floating - 2029/1/19	アメリカ・ドル	98.8%
組入銘柄数	1銘柄	

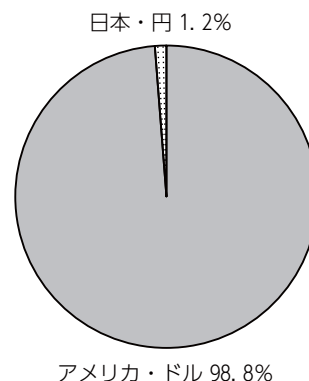
### 資産別配分



### 国別配分



### 通貨別配分



(注1) 上記データは2026年2月26日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

## 純資産等

項目	第112期末	第113期末	第114期末	第115期末	第116期末	第117期末
	2025年9月26日	2025年10月27日	2025年11月26日	2025年12月26日	2026年1月26日	2026年2月26日
純資産総額	29,566,213,561円	29,695,178,029円	28,587,978,228円	27,429,037,485円	26,612,593,938円	27,051,916,578円
受益権総口数	42,723,628,589口	41,488,264,376口	40,639,902,338口	39,816,704,747口	38,911,349,808口	38,306,891,453口
1万口当り基準価額	6,920円	7,157円	7,034円	6,889円	6,839円	7,062円

\* 当作成期間（第112期～第117期）中における追加設定元本額は904,474,322円、同解約元本額は5,949,698,675円です。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

# ダイワ米国リート・プラス (年2回決算型) 為替ヘッジあり

&lt;5692&gt;

追加型投信／海外／資産複合  
日経新聞掲載名：米リプラ2有

第20期 2026年2月26日決算

## 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、一つのファンドで米国リートおよび米ドル建てのバンクローン等に実質的に投資することにより、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第20期末	基準価額	8,387円
	純資産総額	356百万円
第20期	騰落率	0.1%
	分配金	50円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を含めて計算したものです。

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先



コールセンター 受付時間 9:00～17:00(営業日のみ)  
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、  
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

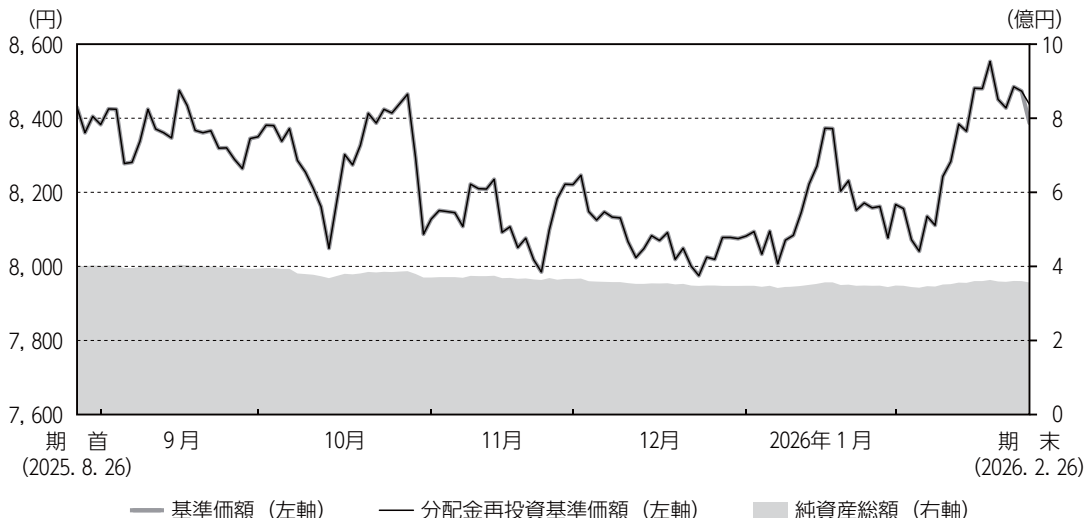
「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法

上記のURLにアクセス → ファンド検索欄にファンド名を入力 → リストから当ファンドを選択 → 運用報告書(全体版)を選択



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- \* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- \* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

### 基準価額・騰落率

期首：8,429円

期末：8,387円（分配金50円）

騰落率：0.1%（分配金込み）

### 基準価額の主な変動要因

スター・ヘリオス・ピーエルシーが発行する債券（米ドル建）を通じて、実質的に米国リートおよび米ドル建てのバンクローン（貸付債権）等に投資し、為替ヘッジを行い運用した結果、米国バンクローン市況と米国リート市況はともに上昇したものの、為替ヘッジコスト等がマイナス要因となったことなどから、基準価額はほぼ横ばいでした。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

## 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2025. 8. 27~2026. 2. 26)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	52円	0.626%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 <b>当作成期中の平均基準価額は8,229円です。</b>
（投 信 会 社）	(16)	(0.194)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(34)	(0.416)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(1)	(0.017)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	2	0.023	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(1)	(0.015)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.004)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	53	0.650	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

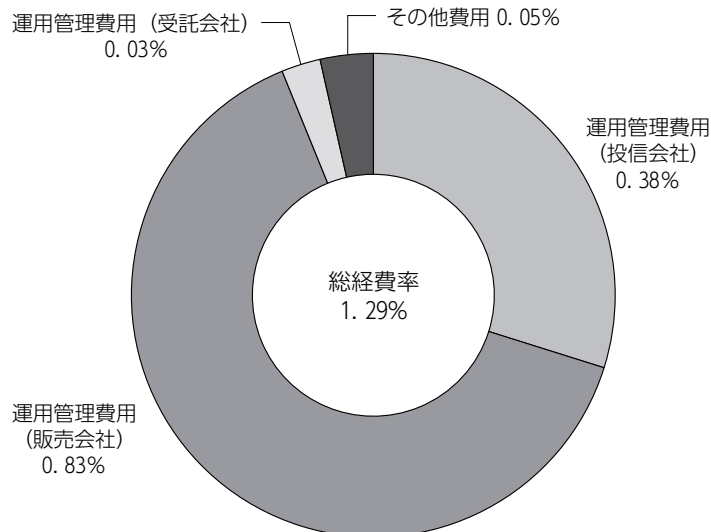
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

### ■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.29%です。



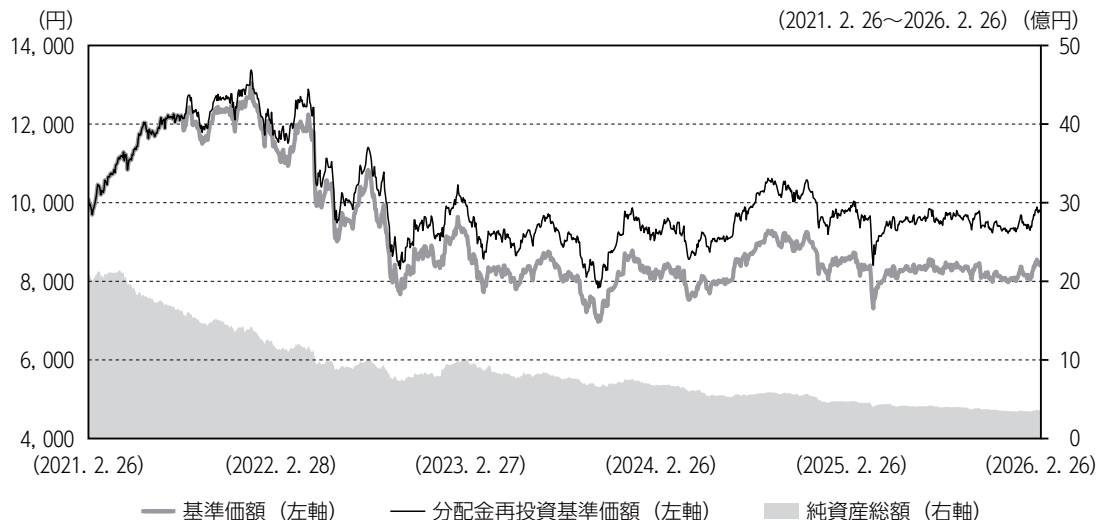
(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料、有価証券取引税および投資対象とする連動債券にかかる費用等を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

\*当ファンドでは、上記のほか投資対象とする連動債券において次の費用がかかりました。  
純資産総額に対して年率0.604%程度、その他各種費用等

## 最近 5 年間の基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、2021年2月26日の基準価額をもとに指数化したものです。

	2021年2月26日 期初	2022年2月28日 決算日	2023年2月27日 決算日	2024年2月26日 決算日	2025年2月26日 決算日	2026年2月26日 決算日
基準価額 (円)	10,089	11,237	8,572	8,169	8,633	8,387
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	600	500	200	100	100
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	17.2	△19.6	△2.3	6.9	△1.7
純資産総額 (百万円)	2,131	1,137	937	677	472	356

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

## 投資環境について

（2025. 8. 27 ~ 2026. 2. 26）

### ■米国リート市況

米国リート市場は上昇しました。

米国リート市場は、当作成期首より、米国の関税政策をめぐる混乱や米中関係の緊迫化を背景に、上下動を繰り返しました。しかし当作成期末にかけては、A I（人工知能）による代替が進みにくい業態であることに加え、米国長期金利の低下が追い風となり、上昇基調へと転じました。

### ■米国バンクローン市況

米国バンクローン市場は上昇しました。

米国バンクローン市場は、ファンダメンタルズと需給の両面で底堅さが続く中、バンクローンによる安定したインカム収益が下支えとなり、堅調に推移しました。

### ■短期金利市況

日銀は、2025年12月に、政策金利である無担保コールレート（オーバーナイト物）を0.75%程度に引き上げました。一方、米国では、同時期に政策金利であるFFレート（フェデラル・ファンド・レート）の誘導目標が3.50~3.75%に引き下げられました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時に「G I M トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド U S Dクラス（※）」の値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に保つことによって、米国リートおよび米ドル建てのバンクローン等に実質的に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行います。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

※G I M トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド U S Dクラス

米ドル建てのバンクローン等に投資し、安定的なインカム収益の確保をめざして運用を行います。

## ポートフォリオについて

(2025. 8. 27 ~ 2026. 2. 26)

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時に「GIM トラスト2-シニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス」の値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に維持しました。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

### (ご参考) 「GIM トラスト2-シニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス」の組入上位銘柄

銘柄名	資産	通貨	利率 (%)	償還日	比率
WEC US HOLDINGS LTD.	バンクローン	米ドル	5.69	2031/1/27	1.3%
CCO HOLDINGS LLC / CCO HOLDINGS CAPITAL CORP	社債	米ドル	5.00	2028/2/1	1.2%
GREENEDEN U. S. HOLDINGS II, LLC	バンクローン	米ドル	6.22	2032/1/30	1.0%
CLEAR CHANNEL OUTDOOR HOLDINGS INC	バンクローン	米ドル	7.83	2028/8/21	0.9%
INSULET CORPORATION	バンクローン	米ドル	5.72	2031/8/1	0.9%
HUB INTERNATIONAL LIMITED	バンクローン	米ドル	5.92	2030/6/20	0.9%
ADIANT GLOBAL HOLDINGS LTD	バンクローン	米ドル	5.97	2031/1/31	0.8%
AHEAD DB HOLDINGS LLC	バンクローン	米ドル	6.17	2031/2/1	0.8%
ULTIMATE SOFTWARE GROUP INC	バンクローン	米ドル	6.34	2031/2/10	0.8%
STAPLES, INC	バンクローン	米ドル	9.60	2029/9/4	0.8%

(注1) 上記データは2026年1月30日の前営業日現在のものです。

(注2) 比率は「GIM トラスト2-シニア・セキュアード・ローン・ファンド」の純資産総額に対する比率です。

※利率の値は、小数第3位を四捨五入して表示しています。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当期	
	2025年8月27日 ～2026年2月26日	
<b>当期分配金（税込み）</b>	<b>(円)</b>	<b>50</b>
対基準価額比率	(%)	0.59
当期の収益	(円)	50
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	7,740

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

### 収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当期	
(a) 経費控除後の配当等収益	✓	555.19円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益		0.00
(c) 収益調整金		3,381.31
(d) 分配準備積立金		3,853.65
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)		7,790.16
(f) 分配金		50.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)		7,740.16

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時に「G I M トラスト2－シニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス」の値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に保つことによって、米国リートおよび米ドル建てのバンクローン等に実質的に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行います。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。



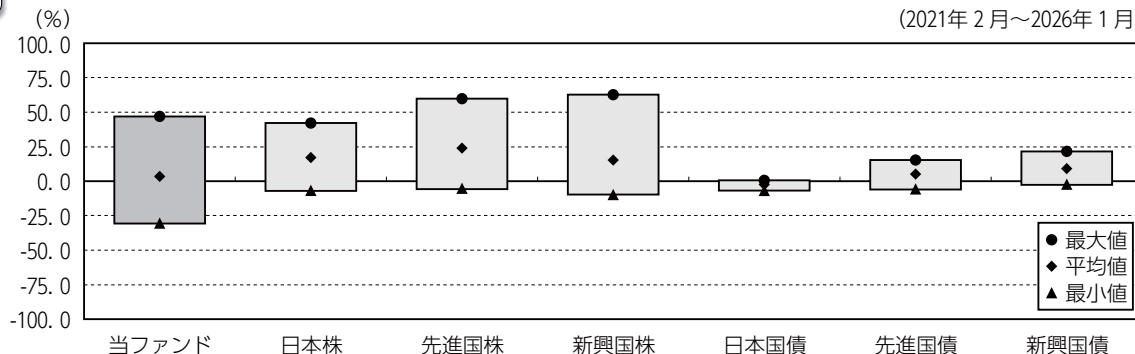
## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／資産複合
信託期間	2016年3月1日～2031年2月26日
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	スター・ヘリオス・ピーエルシーが発行する債券（米ドル建）（以下「連動債券」といいます。）
運用方法	<p>①主として、連動債券への投資を通じて、米国のリート指数（※）に連動した投資成果を信託財産の純資産総額の100％程度享受するとともに、実質的に米ドル建てのバンクローン（貸付債権）等に信託財産の純資産総額の80％程度投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。</p> <p>※米国のリート指数とは、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数をいいます。</p> <p>②連動債券の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。</p> <p>③為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。</p>
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。



## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2021年2月～2026年1月)



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	46.9	42.1	59.8	62.7	0.6	15.3	21.5
平均値	3.4	17.1	23.9	15.2	△ 2.5	5.1	9.1
最小値	△ 30.7	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 6.9	△ 6.1	△ 2.7

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。

②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。

③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………配当込みTOPIX

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマーゼィング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマーゼィング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●配当込みTOPIXの指数値および同指数にかかる商標または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる商標または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマーゼィング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[ <https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>] ●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマーゼィング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



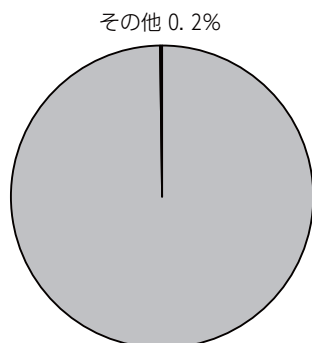
# ファンドデータ

## 当ファンドの組入資産の内容

### 組入上位銘柄

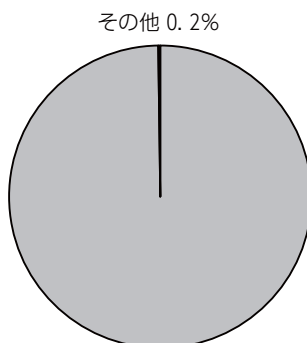
銘柄名	通貨	比率
Star Helios Plc - floating - 2029/1/19	アメリカ・ドル	99.8%
組入銘柄数	1銘柄	

### 資産別配分



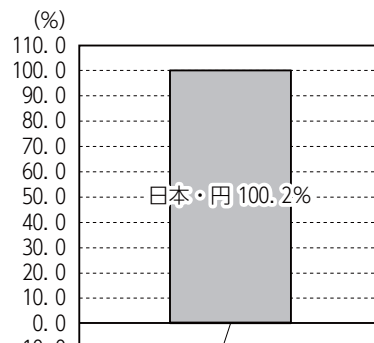
外国債券 99.8%

### 国別配分



アイルランド 99.8%

### 通貨別配分



アメリカ・ドル -0.2%

(注1) 上記データは2026年2月26日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

## 純資産等

項目	当期末
	2026年2月26日
純資産総額	356,631,186円
受益権総口数	425,208,182口
1万口当り基準価額	8,387円

\* 当期中における追加設定元本額は2,962,697円、同解約元本額は55,541,879円です。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

# ダイワ米国リート・プラス (年2回決算型) 為替ヘッジなし

&lt;5693&gt;

追加型投信／海外／資産複合  
日経新聞掲載名：米リプラ2無

第20期 2026年2月26日決算

## 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、一つのファンドで米国リートおよび米ドル建てのバンクローン等に実質的に投資することにより、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第20期末	基準価額	13,200円
	純資産総額	2,864百万円
第20期	騰落率	8.2%
	分配金	300円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を含めて計算したものです。

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先



コールセンター 受付時間 9:00～17:00(営業日のみ)  
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、  
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

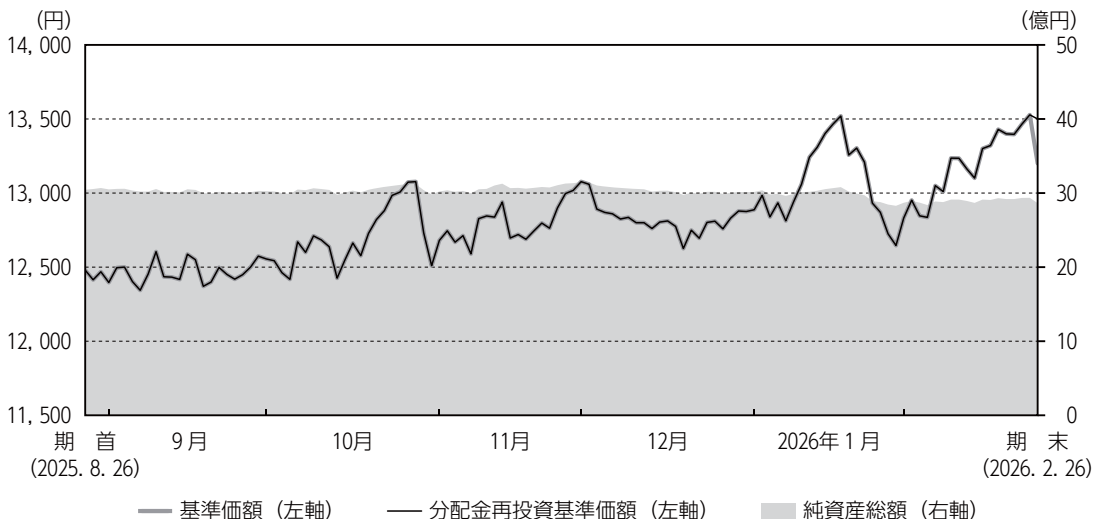
「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法

上記のURLにアクセス → ファンド検索欄にファンド名を入力 → リストから当ファンドを選択 → 運用報告書(全体版)を選択



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- \* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- \* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

### 基準価額・騰落率

期首：12,480円

期末：13,200円（分配金300円）

騰落率：8.2%（分配金込み）

### 基準価額の変動要因

スター・ヘリオス・ピーエルシーが発行する債券（米ドル建）を通じて、実質的に米国リートおよび米ドル建てのバンクローン（貸付債権）等に投資し運用した結果、米国バンクローン市況と米国リート市況がともに上昇したほか、米ドルが対円で上昇（円安）したことなどから、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

## 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2025. 8. 27~2026. 2. 26)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	80円	0.627%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 <b>当作成期中の平均基準価額は12,822円です。</b>
（投 信 会 社）	(25)	(0.194)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(53)	(0.416)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(2)	(0.017)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	2	0.012	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(1)	(0.008)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	82	0.638	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

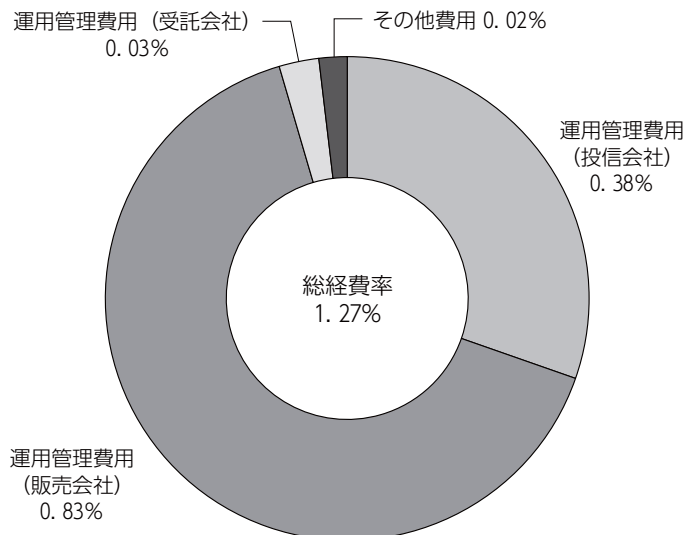
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

### ■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.27%です。



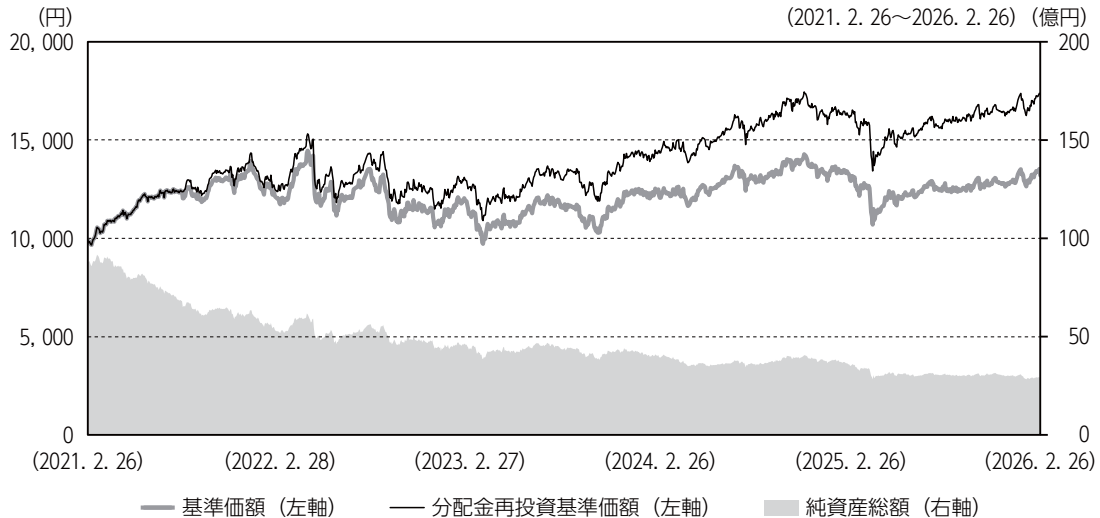
(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料、有価証券取引税および投資対象とする連動債券にかかる費用等を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

\*当ファンドでは、上記のほか投資対象とする連動債券において次の費用がかかりました。  
純資産総額に対して年率0.604%程度、その他各種費用等

## 最近5年間の基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、2021年2月26日の基準価額をもとに指数化したものです。

	2021年2月26日 期初	2022年2月28日 決算日	2023年2月27日 決算日	2024年2月26日 決算日	2025年2月26日 決算日	2026年2月26日 決算日
基準価額 (円)	9,902	11,996	11,228	12,164	12,948	13,200
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	700	700	700	700	600
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	28.3	△0.9	14.9	12.3	6.8
純資産総額 (百万円)	8,834	5,248	4,336	3,940	3,501	2,864

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

## 投資環境について

(2025. 8. 27 ~ 2026. 2. 26)

### ■米国リート市況

米国リート市場は上昇しました。

米国リート市場は、当作成期首より、米国の関税政策をめぐる混乱や米中関係の緊迫化を背景に、上下動を繰り返しました。しかし当作成期末にかけては、AI（人工知能）による代替が進みにくい業態であることに加え、米国長期金利の低下が追い風となり、上昇基調へと転じました。

### ■米国バンクローン市況

米国バンクローン市場は上昇しました。

米国バンクローン市場は、ファンダメンタルズと需給の両面で底堅さが続く中、バンクローンによる安定したインカム収益が下支えとなり、堅調に推移しました。

### ■為替相場

米ドル為替相場は対円で上昇（円安）しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より、おおむねレンジでの推移が継続しましたが、2025年10月から11月半ばにかけて、自民党総裁選挙の結果を受けた積極財政や緩和的な金融環境の継続への期待などから、投資家のリスク選好度が強まり、円安が進行しました。2026年1月には、日本の衆議院解散による積極財政推進への思惑などから円安が進行する場面もありましたが、為替介入の前段階とされるレートチェックを日米双方の当局が実施したとの観測を受けて、円高が進行しました。当作成期末にかけては、米国財務長官の強い米ドル政策を支持する発言が米ドル高要因となった一方で、米ドル離れの思惑や市場予想を下回る米国の経済指標が米ドル安要因となり、米ドル円は上下に振れる展開となりました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時に「GIM トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス（※）」の値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に保つことによって、米国リートおよび米ドル建てのバンクローン等に実質的に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行います。

※GIM トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス

米ドル建てのバンクローン等に投資し、安定的なインカム収益の確保をめざして運用を行います。

## ポートフォリオについて

(2025. 8. 27 ~ 2026. 2. 26)

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時に「G I M トラスト2-シニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス」の値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に維持しました。

### (ご参考) 「G I M トラスト2-シニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス」の組入上位銘柄

銘柄名	資産	通貨	利率(%)	償還日	比率
WEC US HOLDINGS LTD.	バンクローン	米ドル	5.69	2031/1/27	1.3%
CCO HOLDINGS LLC / CCO HOLDINGS CAPITAL CORP	社債	米ドル	5.00	2028/2/1	1.2%
GREENEDEN U. S. HOLDINGS II, LLC	バンクローン	米ドル	6.22	2032/1/30	1.0%
CLEAR CHANNEL OUTDOOR HOLDINGS INC	バンクローン	米ドル	7.83	2028/8/21	0.9%
INSULET CORPORATION	バンクローン	米ドル	5.72	2031/8/1	0.9%
HUB INTERNATIONAL LIMITED	バンクローン	米ドル	5.92	2030/6/20	0.9%
ADIANT GLOBAL HOLDINGS LTD	バンクローン	米ドル	5.97	2031/1/31	0.8%
AHEAD DB HOLDINGS LLC	バンクローン	米ドル	6.17	2031/2/1	0.8%
ULTIMATE SOFTWARE GROUP INC	バンクローン	米ドル	6.34	2031/2/10	0.8%
STAPLES, INC	バンクローン	米ドル	9.60	2029/9/4	0.8%

(注1) 上記データは2026年1月30日の前営業日現在のものです。

(注2) 比率は「G I M トラスト2-シニア・セキュアード・ローン・ファンド」の純資産総額に対する比率です。

※利率の値は、小数第3位を四捨五入して表示しています。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当期	
	2025年8月27日 ～2026年2月26日	
<b>当期分配金（税込み）</b>	<b>（円）</b>	<b>300</b>
対基準価額比率	（％）	2.22
当期の収益	（円）	300
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	8,691

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売却等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

### 収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当期	
(a) 経費控除後の配当等収益	✓	860.11円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益		0.00
(c) 収益調整金		4,502.79
(d) 分配準備積立金		3,628.60
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)		8,991.51
(f) 分配金		300.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)		8,691.51

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

原則として、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数の値動きに100%程度連動すると同時に「G I M トラスト2ーシニア・セキュアード・ローン・ファンド USDクラス」の値動きに80%程度連動する債券への投資割合を高位に保つことによって、米国リートおよび米ドル建てのバンクローン等に実質的に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行います。

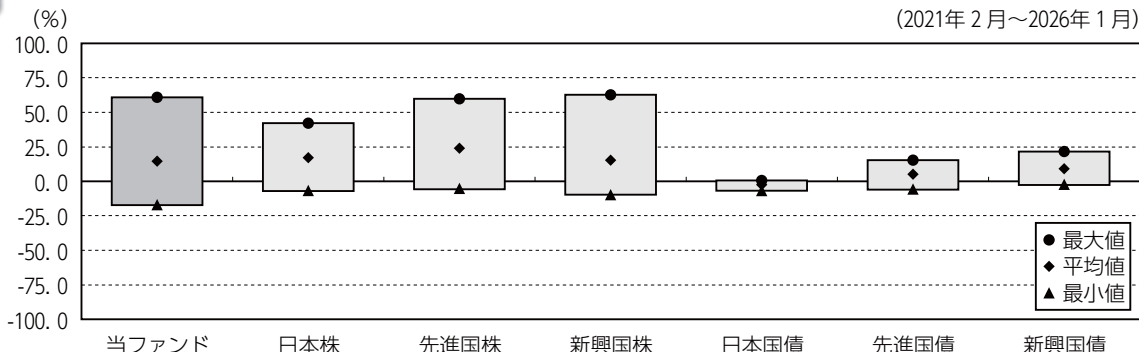


## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／資産複合
信託期間	2016年3月1日～2031年2月26日
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行いません。
主要投資対象	スター・ヘリオス・ピーエルシーが発行する債券（米ドル建）（以下「連動債券」といいます。）
運用方法	<p>①主として、連動債券への投資を通じて、米国のリート指数（※）に連動した投資成果を信託財産の純資産総額の100％程度享受するとともに、実質的に米ドル建てのバンクローン（貸付債権）等に信託財産の純資産総額の80％程度投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行いません。</p> <p>※米国のリート指数とは、ダウ・ジョーンズ米国不動産指数をいいます。</p> <p>②連動債券の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。</p> <p>③為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行いません。</p>
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。



## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	60.7	42.1	59.8	62.7	0.6	15.3	21.5
平均値	14.5	17.1	23.9	15.2	△2.5	5.1	9.1
最小値	△17.3	△7.1	△5.8	△9.7	△6.9	△6.1	△2.7

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。

②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。

③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………配当込みTOPIX

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマーゼィング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマーゼィング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●配当込みTOPIXの指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマーゼィング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[ <https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html> ] ●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマーゼィング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用されています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



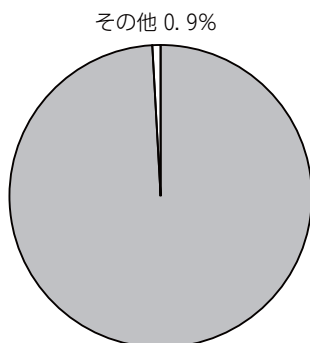
# ファンドデータ

## 当ファンドの組入資産の内容

### 組入上位銘柄

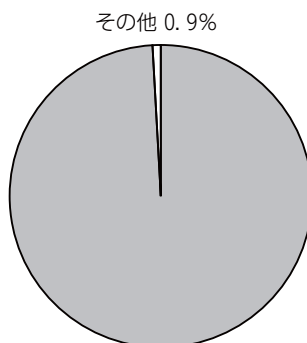
銘柄名	通貨	比率
Star Helios Plc - floating - 2029/1/19	アメリカ・ドル	99.1%
組入銘柄数		1銘柄

### 資産別配分



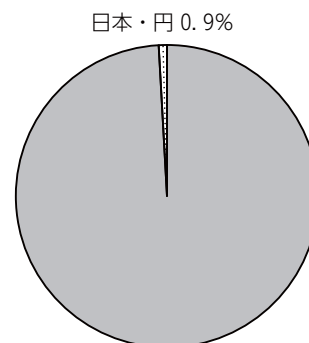
外国債券 99.1%

### 国別配分



アイルランド 99.1%

### 通貨別配分



アメリカ・ドル 99.1%

(注1) 上記データは2026年2月26日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

## 純資産等

項目	当期末
	2026年2月26日
純資産総額	2,864,545,383円
受益権総口数	2,170,028,233口
1万口当り基準価額	13,200円

\* 当期中における追加設定元本額は74,276,971円、同解約元本額は343,625,940円です。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。